

(12月の野菜の見通し)

品目	区分	入荷量(t)			キロ当たり単価(円)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比 見込 (%)	5ヵ年平均	前年実績	前年比 見込 (%)	5ヵ年平均	前年入荷 量(t)	前年占有 率(%)	
だいこん		13,132	100	13,649	68	96	61	2	0.0	千葉、神奈川産中心の入荷で全体の約9割を占める。千葉産の入荷は、低温が早く来てゆっくりペースで出荷されている。12月中旬にはピークとなって12月としては前年を上回る110%の出荷が予想される。全体の出荷量は前年並、価格は前年を下回るが平年よりは高い見込み。
にんじん		8,877	103	9,228	110	82	108	-	-	千葉産中心の入荷で全体の約8割を占める。今年は平年作で前年より出回りが多し。全体の入荷量は平年を上回り、価格は前年を大きく下回る見込み。
はくさい		14,844	100	14,945	48	94	41	5	0.0	茨城産中心の入荷で全体の9割を占める。今年は11月から潤沢ペースが続いている。早生種「なおみ」は肥大良好。全体の入荷量は前年並、価格は前年を下回る見込み。
ほうれんそう		2,043	101	2,019	360	100	379	1	0.0	群馬、埼玉を中心とする関東産が市況をリードする。群馬産は、露地ほうれんそうの出荷が7日程度遅れているが、12月に入れば出荷は増えてきて本格化する。全体の入荷量はほぼ前年並、価格も前年並の見込み。
キャベツ類		12,536	103	12,598	100	70	86	-	-	千葉、愛知産中心の入荷で全体の約8割を占める。今年は関東も愛知も順調で出回りは多い。全体の入荷量は前年を上回り、価格は前年を大きく下回るも、11月の低迷からは脱する見込み。
ねぎ		6,826	98	6,570	196	117	217	152	2.2	千葉、埼玉を中心とする関東産が市況をリードする。12月には、遅れていた生育は回復すると見られるが、前年程入荷量は多くない予想。価格は前年を上回る見込み。

(12月の野菜の見通し)

品目	区分	入荷量(t)			キロ当たり単価(円)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比 見込 (%)	5ヵ年平均	前年実績	前年比 見込 (%)	5ヵ年平均	前年入荷 量(t)	前年占有 率(%)	
レタス類		7,544	103	7,808	262	76	217	-	-	静岡、香川、兵庫産中心の入荷で約6割を占める。静岡産は生育が遅れ気味となっているが、12月には回復する見通し。サイズは2L中心で12月中下旬がピークとなる。全体の入荷量は前年を上回り、価格は前年を下回る見込み。
きゅうり		4,949	102	4,916	423	95	403	-	-	千葉を中心とする関東産の抑制ものに加え、高知、宮崎などの暖地産が市況をリードする。本年の抑制ものは早く切れ上がるものと見られるが、西南暖地が多いことから、全体の入荷量は前年よりやや多く、価格は前年を下回る見込み。
なす		1,542	99	1,530	402	103	413	-	-	高知産、福岡産中心の入荷で全体の約8割を占める。11月に天候が不順であったことから12月前半の数量は少ないが、後半には盛り返す見込み。全体の入荷量は前年をやや下回り、価格は前年を上回る見込み。
トマト		4,652	102	4,821	396	83	409	3	0.1	愛知、熊本の暖産が市況をリードする。本年は11月中旬に出荷が集中したことから、11月下旬から12月上旬にかけては数量は少ない見込み。全体の入荷量は前年をやや上回り、価格は前年を下回る見込み。
ピーマン		1,642	102	1,640	493	87	401	-	-	茨城、宮崎産中心で全体の約7割を占める。量的には宮崎県が多いと予想される。全体の入荷は前年を上回り、価格は前年をした回る見込み。
ばれいしょ		8,093	90	7,628	97	135	100	-	-	北海道産中心の入荷で市況をリードする。北海道産男爵は小玉傾向で出荷量の少ない状態が続く。長崎産にしゆたかの入荷も始まるが、市場全体の流通量は少なく引き合いは強いまま。入荷量は前年より少なく、価格は前年を上回る見込み。
たまねぎ		10,509	95	10,326	74	128	84	-	-	北海道中心の入荷で全体の約9割を占める。不作傾向であり、L大・Lの引き合いが強い。全体の入荷量は前年を下回り、価格は前年を上回る見込み。